

当社独自のソリューションで、さまざまな業務を自動化

年間30万時間の削減に成功した
自社独自のRPA活用ノウハウの提供



約250業務を自動化し、年間30万時間の削減効果を創出。そのノウハウを元に、RPA専門組織 (CoE) の立ち上げや安定稼働のコツを提供します。

プロフェッショナルなエンジニアが
RPAに関するお悩みを幅広くサポート



Automation Anywhere 認定資格保有数は業界トップクラス。専門知識を有するエンジニアがサポートします。

RPA導入実績は100社を超え、
導入後もカスタマーサクセスを支援



RPAユーザー会の定期開催や、製品最新情報の定期配信を行っています。RPA定着化・加速化に関するご相談対応も定期的に行います。

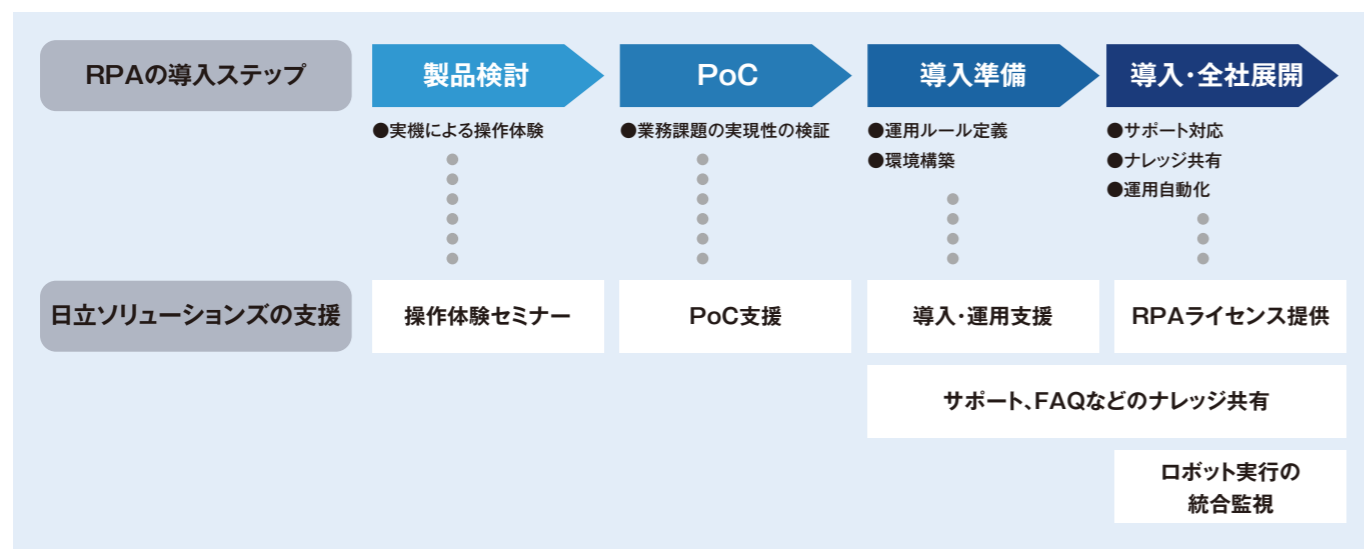
安心して運用いただくための
サポートサービスを提供



当社独自の豊富なナレッジベースを活用し、専任のサポートチームが対応します。お客様環境で発生した問題を迅速に解決します。

RPAの導入ステップに応じた、きめ細かい支援メニュー

RPAの導入には専門のノウハウが必要とされるうえ、PoC対象業務の選定や運用ガイドの制定など取り組むべき課題が多く、お客様にとって大きな負担となっています。製品検討からPoC、導入準備、導入・全社展開まで、各ステップに応じた支援サービスを提供し、お客様のRPA導入をきめ細かくサポートします。



※活文は、株式会社日立ソリューションズの登録商標です。※JPIは、株式会社日立製作所の日本における商品名称(商標または登録商標)です。※Automation Anywhere, Automation 360は、Automation Anywhere, Inc.の米国およびその他の国における商標または登録商標です。※本カタログに記載されているすべてのSAP製品およびサービス名はSAP社のドイツおよび他の世界各国における登録商標または商標です。※Microsoft Teamsは、Microsoft Corporationの米国およびその他の国における商標または登録商標です。※Workatoは、Workato, Inc.の米国およびその他の国における商標または登録商標です。※Boxは、Box, Inc.の米国およびその他の国における商標または登録商標です。※Salesforceは、Salesforce.com, Inc.の米国およびその他の国における商標または登録商標です。※Slackは、Slack Technologies, LLCの米国およびその他の国における商標または登録商標です。※その他、本カタログ中の会社名、商品名は各社の商標、または登録商標です。※本文中および図中では、TMマーク、®マークは表記していません。※製品の仕様は、改良のため、予告なく変更する場合があります。※本製品を輸出される場合には、外国為替及び外国貿易法ならびに米国の輸出管理関連法規などの規制をご確認の上、必要な手続きをお取りください。なお、ご不明な場合は、当社担当営業にお問い合わせください。※本カタログ中の情報は、カタログ作成時点のものであります。

◎ 株式会社 日立ソリューションズ
www.hitachi-solutions.co.jp



本カタログ掲載商品・サービスの詳細情報
www.hitachi-solutions.co.jp/rpa/sp/

S19K-07-02 | 2022.03

RPA業務自動化ソリューション

RPAに多彩なソリューションを組み合わせ、
業務自動化をトータルに支援します。



◎ 株式会社 日立ソリューションズ

RPA導入からDX対応まで、当社ソリューションを組み合わせ提供。 さまざまな自動化を可能とするハイパーオートメーション*1の実現を支援します。

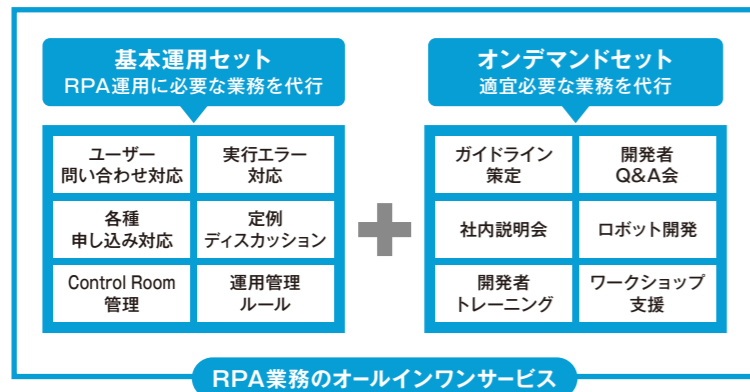
*1 ハイパーオートメーション:分岐や判断を伴う複雑な作業や業務であっても自動化する仕組み



RPA業務支援BPOサービス

さまざまなお客様のニーズに対応可能なメニューを
ワンパックで提供

全社導入に必要な各種ガイドラインや、FAQなどの情報とロボット管理をクラウドで提供。低コストかつスピーディーな導入を実現し、運用開始後の管理部門の負荷を低減します。



Automation 360

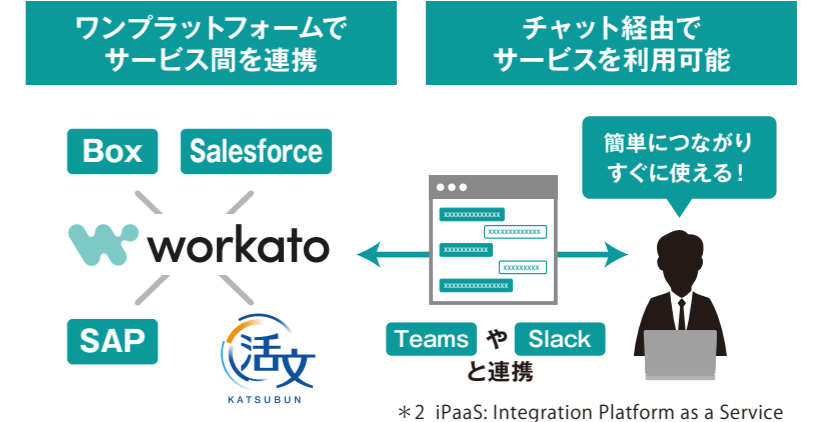
グローバルで豊富な導入実績を誇る
リーディングエンタープライズRPAプラットフォーム。
さまざまな業務要件に対応し、部門導入から全社導入まで対応。



システム統合

クラウド活用を加速させるiPaaS*2「Workato」

サービス間をワンプラットフォームで連携&自動化。チャットで操作できるのでユーザーの利便性がアップします。
ローコード・ノーコードで開発可能、サーバーのサイジングも不要なので、簡単かつスピーディーに運用開始できます。



AI-OCR

“紙業務の自動化”を現場のビジネスユーザーの手で
実現可能にする「IQ Bot」

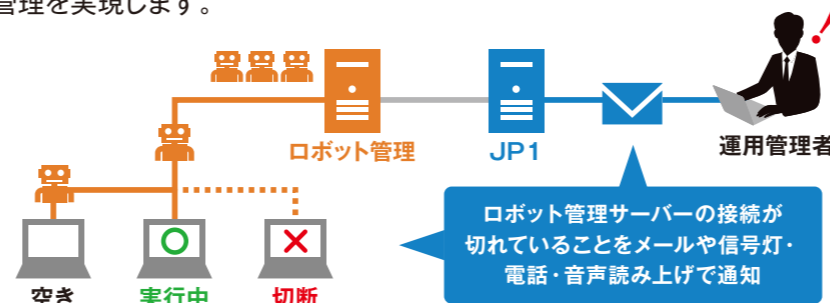
ランダムな書式の帳票からも、自動で必要なデータを抽出できるAI-OCR。直感的に使用できる操作性で業務担当者でも使いやすく、プロセスの自動化に対応可能です。



JP1連携ソリューション

JP1とRPAの連携で、バックオフィス業務の
さらなる運用効率と信用性の維持・向上を実現

統合システム運用管理JP1と、Automation Anywhereの連携により、業務カレンダーに合わせたロボットの実行や、ロボットの実行・予実行などの一元管理を実現します。



ヒューマンロボットコラボレーション

諦めていた“人の判断が必要な業務”の自動化を
「AARI*3」で実現

RPAが苦手とする、人の判断や確認が必要な業務の自動化処理を実現。さまざまなプラットフォームからAARIを通して処理中の判断を行い、多くのアプリケーションを操作します。

